

# 50回目のファースト・キス

2005(平成17)年3月25日鑑賞(ソニーピクチャーズ試写室)

★★★



監督＝ピーター・シーガル／出演＝ドリュー・バリモア／アダム・サンドラー／ロブ・シュナイダー／ショーン・アスティン／ブレイク・クラーク／ダン・エイクロイド (ソニー・ピクチャーズ エンタテインメント配給/2004年アメリカ映画/99分)

……もしあなたが、「前日のことをすべて忘れてしまう」という「短期記憶喪失障害」を持つ美しい女性に恋をしたとしたら……？ 毎朝アプローチをかけ、それが成功した時にはファースト・キスを交わすことができるが、果たして同じことを50回も続けられるだろうか……？ ハワイを舞台に日々リセットされてくり返される恋は、コメディタッチながらも、ちょっと切ないもの……？

## もし彼女が「短期記憶喪失障害」だったら……？

もし、あなたが一目惚れした彼女が「前日のことはすべて忘れてしまう」という短期記憶喪失障害を持っていたら……？ せっかく最初のアプローチに成功して、いい雰囲気となり、明日のデートを約束したとしても、翌日にはまた一からリセットしてやり直さなければならない。毎朝いきつけのフキラウ・カフェの決まったテーブルで朝食を食べているこんな障害をもった女性、ルーシー（ドリュー・バリモア）に対しては、毎朝「きっかけづくり」からスタートしなければならないわけだ。そんな毎朝の恋のアプローチを、あなたは何回くり返すことができるだろうか？

## ヘンリーはプレイボーイ！

ハワイにある、のどかな小さな島で獣医をしている男性はヘンリー（アダム・サンドラー）。彼は地元の女には手を出さず、遠くから観光にやってきた女性を

次々とゲットしては、バイバイを決めこむ超プレイボーイだが、意外にもそんなヘンリーがルーシーに一目惚れ……。ルーシーもわりとホレやすいタイプ(?)のようで、仲良く朝食を食べながら、2人はたちまちいい雰囲気に……。そして別れ際、当然のように、明日のデートの約束をしたが……。

## 翌日のデートは？

約束の時間にフキラウ・カフェを訪れたヘンリーだったが、なぜか今朝はルーシーは冷たい態度。なれなれしく話しかけてくるヘンリーを拒絶し、ストーカー呼ばわりまで……。さあヘンリーは大混乱……。しかしルーシーは短期記憶喪失障害で、昨日のデートのことはすっかり記憶にないのだから、そりゃ仕方なし。ルーシーが1年前の交通事故によって短期記憶喪失障害になったという事情をヘンリーが聞いたのはカフェのオーナーから。しかしこれでヘンリーがルーシーのことをあきらめるとしたら大まちがい！さらなる闘志を燃やして(?)何回も何回もアプローチ……。

## 父親と弟はホントに大変！

「前日のことをすべて忘れてしまう」というルーシーにさせてしまったのは、父親マーリン（ブレイク・クラーク）の運転していた車の事故によるもの。したがって、マーリンは娘に対してできるだけのことをしてやろうと考えているうえ、弟のダグ（ショーン・アスティン）もステロイド剤を多用する筋肉バカというちょっとヘンな奴だが、やさしい男。ルーシーに交通事故のことや短期記憶喪失障害という病気のことを気づかせないためのベストの方法は、毎日同じことをくり返すこと！したがって、ルーシーは毎日同じフキラウ・カフェで朝食を食べ、その後車に乗って家に戻り、大きな白い壁に絵を描き、パパの誕生日にプレゼントを渡し、etc.……。毎日毎日、こんな「お芝居」につき合っているマーリンとダグはホントに大変！

## ヘンリーもこれに参加！

事情が飲み込めたヘンリーは、他の女に手を出すことをブツリとやめ、獣医

としての仕事以外は、毎日毎日、ルーシーへのアプローチを開始した。毎日、うまくいくわけではないだろうが、うまくいってファースト・キスができれば大成功。しかし「AからB」へ、さらに「BからCへ」進展させることは、マーリンやダグが許してくれないうえ、ヘンリー自身の良心の呵責(?)もあるからそれはぐっと我慢……? 毎日車で通ってくるルーシーをあの手、この手で待ち伏せして恋のアプローチをくり返すヘンリーもそりゃ大変。もっとも、その努力の甲斐あって、50回もファースト・キスができたとしたら、そりゃ幸せ者と言うべきだろうが……?

### いつかバレるはず

こんな涙ぐましい「お芝居」がいつまでもバレないはずはない。それがバレたのはルーシーの乗っていた車が車検切れだと指摘されたため。ルーシーは「そんなバカな、この車はまだ……」と反論したが、事実は事実。自分が1年間も昨日のことはすべて記憶がなくなり、毎日同じ行動をくり返してきたと知ったルーシーは大ショック。

さらに事故の写真やその資料を見て、自分の頭に手をやると、たしかにそこにはまだ残っているキズも……。さあ、これからどうやってルーシーは生きていけばいいのだろうか……?

### 涙ぐましいルーシーの決断!

「前日のことをすべて忘れてしまう」というルーシーであっても、恋を継続させる方法はあるはず。そこでヘンリーは告白ビデオを撮ってその中で病気の事実と愛の告白をするという懸命の努力を。しかし、自分に対してそんな努力を続けるためにヘンリーが夢のために割く時間がとれなくなっていることを知ったルーシーは、ヘンリーの将来のため別れる決心を……。何とも涙ぐましい乙女心……?

そんな決心をしたルーシーが病院に入ったため、ヘンリーはついに自分の夢であったセイウチの生態研究のためにアラスカに行く夢を実現すべく船に乗り込むことに……。

## この映画は音楽がポイント！

最初のデートの後、今日のデートの成功を喜び、明日のデートを楽しみにしてお互いが歌い踊る曲が『Wouldn't It Be Nice』。この映画では音楽が大きなポイントとなっている。ヘンリーが船出する時にルーシーの父親から手渡されるCDにも『Wouldn't It Be Nice』が入っているうえ、「前日のことをすべて忘れてしまう」ルーシーも、ヘンリーとデートした日は楽しそうに『Wouldn't It Be Nice』の曲をいつも口ずさんでいた。果たして2人の恋は短期記憶喪失障害を克服することができるのだろうか……？

## 記憶喪失は純愛モノの立派な道具！

この映画もそうだが、記憶喪失というのはある悲しい障害だが、使いようによっては(?)ある意味非常に便利なもの。特にプレイボーイのヘンリーであれば、彼女の方が記憶をなくしてくれるのだから、つきまといられる心配はありえず、後腐れなく別れられるからそりゃ便利なオンナ……。しかし、そんなふうに割り切ってしまったのでは純愛映画は誕生しない。韓流の純愛映画『純愛中毒』(02年)も、記憶喪失が重要な道具とされていたが、この記憶喪失という道具は、涙ポロポロの純愛映画にも、この映画のようなコメディタッチを基調とした感動モノ(?)にも使うことができるから、そこは脚本家と監督の腕次第！

## あなたはドリュー・バリモアが好き？

短期記憶喪失障害の主人公ルーシーを演じたうえ、この映画の製作にも関与したのはドリュー・バリモア。私がドリュー・バリモアを知っているのは『チャールーズ・エンジェル』(00年)、『チャールーズ・エンジェル フルスロットル』(03年)を観たためだが、正直言ってあまり私の好きなタイプではない。それはなぜなら、この映画でもそうだが、ちょっと太めだから……。もう少しきちんとダイエットして登場してくれれば、美人女優大好き人間の私としても拍手喝采したいのだが……。さてあなたは、こんなドリュー・バリモアが好き……。？

2005(平成17)年3月25日記